

平成 31 年度

「運営に関する計画」

大阪市立西中学校

平成 31 年 4 月

大阪市立西中学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート及び目標別シート）

平成 31 年度 学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生き抜く生徒を育成する。

- | | | |
|-----|------|-------------|
| (1) | 管理職 | ① 教務部 |
| (2) | 各部 | ② 生活指導部 |
| | | ③ 健康教育部 |
| | | ④ 事務・管理作業員部 |
| (3) | 各学年 | ① 1学年 |
| | | ② 2学年 |
| | | ③ 3学年 |
| (4) | 各教科 | ① 国語科 |
| | | ② 社会科 |
| | | ③ 数学科 |
| | | ④ 理科 |
| | | ⑤ 英語科 |
| | | ⑥ 音楽科 |
| | | ⑦ 美術科 |
| | | ⑧ 保健体育科 |
| | | ⑨ 技術・家庭科 |
| (5) | 各委員会 | ① 特別支援教育委員会 |
| | | ② 人権・道徳委員会 |
| | | ③ 食育委員会 |

大阪市立西中学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

（1）管理職

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

学力面では、平成30年度「全国学力・学習状況調査」において、国語A・B、数学A・Bとともに、大阪市平均を上回ったが、全国平均では僅差ながら下回る結果であった。平成24年度調査にくらべて、平成28年度以降は徐々に差が縮まってきており、約1~2Pの幅にまで迫ってきている。この間の学力向上に向けた取り組みの成果が表れてきており、生徒の授業に向かう姿勢も大きく向上してきている。縮まってきた差が再び開いていくことがないよう、今後も継続して授業規律や授業の構成、及び、教科教員の授業力の更なる向上を図っていく必要がある。

数学科や英語科を中心とした習熟度別少人数授業の実施や、「学校元気アップ地域本部」とのタイアップによる補充学習、資格講座(英検)など、学力向上の取り組みを、引き続き充実させていくことで、生徒たちの向上心をより高めていく必要がある。また、平成30年度より取り組みを始めた「学力向上推進モデル事業」との連携を図りながら、国語科や数学科を中心とする基礎学力の構築に学校の総力をあげて取り組んでいくことで学力向上の結果を残していく必要がある。

授業内容の理解については、国語・数学ともに概ね8割以上の生徒が肯定的な回答をしてはいるが、教科の授業を担当している19名の教員のうち、経験10年未満の教員が4割近くの7名おり、今年度も引き続いて生徒一人ひとりの授業理解をねらいとした指導力の向上を図っていく必要がある。

家庭での学習については、学校の授業に向けた予習・復習を行っている生徒が49.5%という結果で半数に満ちていない現状があり、課題解決に向けて自ら考え取り組むことができる生徒の割合も60.3%であり、いずれの結果も残念ながら全国平均を下回っていることが本校の大きな課題となっている。

また、読書に関しては、「普段まったく読書をしない」という生徒が4割強いる。読書意欲の醸成、読書習慣の形成についても大きな課題となっている。

学校全体としては、落ち着いた状況で安定した教育活動が実践されており、「いじめを許さない」といった心情については、全国平均を上回っており確実に醸成されてきている。しかしながら、自尊感情の形成については、普段の学校生活の様子とはまだ齟齬のある結果となっており、77.4%の生徒が肯定的な回答をしてはいるが、全国平均は上回っていない。あらゆる教育活動を通して、「できる喜び」や「達成感」を味わわせることが重要であり、学校・家庭・地域の連携を強化し、社会に役立つ人間としてのあり方や豊かな生き方を考えることができるような取り組みを進めていく必要がある。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】

- ① 平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年 100%にする。

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実）

- ② 毎年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実）

- ③ 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。

（施策 2 道徳心・社会性の育成）

- ④ 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を 80% 以上にする。

（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

- ⑤ 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 80% 以上にする。

（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ① 全国学力・学習状況調査における活用に関する問題の正答率 8 割以上の生徒の割合を、平成 29 年度からの 4 年間で全国平均以上にする。

（施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

- ② 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における数学の活用に関する問題の無解答率を平成 28 年度より 5 ポイント減少させる。

（施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

- ③ 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「1 時間未満」と答える生徒の割合を、平成 28 年度より減少させる。

（施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

- ④ 平成 33 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における合計得点を、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。

（施策 7 健康や体力における保持増進する力の育成）

- ⑤ 全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を毎年、前年度より減少させ、平成 33 年度調査において 7% 以下にする。

（施策 7 健康や体力における保持増進する力の育成）

2. 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 今年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。

（施策1 安心できる学校、教育環境の充実）

- ② 今年度の校内調査における「学力のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。

（施策1 安心できる学校、教育環境の充実）

- ③ 今年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。

（施策1 安心できる学校、教育環境の充実）

- ④ 今年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

（施策1 安心できる学校、教育環境の充実）

学校の年度目標

- ① 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を100%にする。

（施策1 安心できる学校、教育環境の充実）

- ② 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を、前年度より減少させる。

（施策1 安心できる学校、教育環境の充実）

- ③ 平成31年度の全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。

（施策2 道徳心・社会性の育成）

- ④ 平成31年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を70%以上にする。

（施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

- ⑤ 平成31年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を70%以上にする。

（施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 今年度の中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと）

（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

- ② 今年度の中学生チャレンジテストにおける正答率が市平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ③ 今年度の中学生チャレンジテストにおける正答率が市平均の 2 割以上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ④ 今年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ⑤ 今年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である上体起こしの平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。

(施策 7 健康や体力における保持増進する力の育成)

学校の年度目標

- ① 平成 31 年度の全国学力・学習状況調査における国語、及び、数学に関する問題の正答率 8 割以上の生徒の割合を全国平均にする。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ② 平成 31 年度の全国学力・学習状況調査における国語、及び、数学に関する問題の無解答率を平成前年度より 2 ポイント減少させる。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ③ 平成 31 年度の全国学力・学習状況調査における「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「1 時間未満」と答える生徒の割合を、前年度より減少させる。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ④ 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における合計得点を、前年度より 3 ポイント向上させる。

(施策 7 健康や体力における保持増進する力の育成)

- ⑤ 全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を、平成 31 年度調査において前年度より減少させる。

(施策 7 健康や体力における保持増進する力の育成)

3. 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立西中学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

（2）各部

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

教務部…どの学年もおちついた雰囲気のもと、授業が行われている。昨年度の「全国学力・学習状況調査」（現高1の学年）では、どの教科も府の平均をやや上回り、全国平均並みの結果であった。記述式の問題の正答率も、平均を上回り、無回答率も全国平均値よりかなり低い。学校全体として、国語の授業などを中心に、文章を書く機会を増やし、練習を続けていった成果が出てきている。

また、チャレンジテストの結果は、現2・3年生の学年では、おおむね府平均程度であるが、教科によっては、府平均を下回る教科もある。これまでの学力向上に向けた各取り組みの成果が徐々に表れてきているが、まだまだ不十分な教科や分野がみられる。特に現2年生に数学が苦手な生徒が多くみられる。

本年度も引き続き、学校元気アップ地域本部事業による学生ボランティア等の補充学習会を実施するなど、放課後の自主学習の支援を継続する。また、『学力向上プロジェクト』の取り組みとして、小テストを反復することにより、基礎学力の定着を図っていきたい。また、ＩＣＴを効果的に活用できるように教員の研修や教材研究を重ねていく必要がある。

生活指導部…現在、全体としては落ち着いているが、対人関係のトラブルや、学校生活に不安を抱えている生徒もいるので、生徒が安心して学校生活を送れるように、今まで通りルールを守ることの大切さなどを指導しながら、不登校対策も含めて学校全体でその方策を講じる必要がある。

多くの生徒が遅刻なく登校できているが、ギリギリの時間での登校や、予冷遅刻をする生徒がいる現状であるため、全員が時間に余裕をもって登校し、落ち着いて始業に取り組めるようにすることが課題である。

健康教育部…現在、本校の生徒は概ね健康で安全な学校生活を送っている。しかし、生徒を取り巻く社会環境が大きく変化する中、健康・安全な生活に課題を持つ生徒も少なくない。

①校内の学習環境の整備・美化・ごみの減量化の徹底を図る。さらに、健康・安全に留意して、社会生活を送ることに自ら積極的に取り組むことができる生徒の育成を目指して、計画的に指導する。

②生涯を通じて心身ともに、安全でかつ健康的な生活を送ることができる生徒像を目指し、現代的課題に応じた指導計画が必要である。

事務・管理作業員部…学校全体の生徒の様子として、比較的落ち着いた状態の中で教育活動が実施されている。しかし、突発的な窓ガラス破損や小破損はゼロではないため、常に校内の危険個所を把握し、補修対応を行うことが必要である。

また、教育環境を充実させるための教材購入にあたって、限られた予算を有効に執行するために、各教科との連携のもと教材を検討する必要がある。

保護者から問い合わせが多い内容として、学校徴収金の徴収計画、学校給食費の徴収日程、就学援助申請書類についての質問がある。これらはプリントにて全体に配付しているが、プリントの紛失や失念により周知ができていない場合がある。そのため、文書の配布時期や、各種書類の締切り日などを随時発信し、周知を促していく必要がある。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】

① 平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年 100%にする。

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実）

② 毎年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させ

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実）

③ 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。

（施策 2 道徳心・社会性の育成）

④ 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を 80% 以上にする。

（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

⑤ 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 80% 以上にする。

（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

① 全国学力・学習状況調査における活用に関する問題の正答率 8 割以上の生徒の割合を、平成 29 年度からの 4 年間で全国平均以上にする。

（施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

② 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「1 時間未満」と答える生徒の割合を、平成 28 年度より減少させる。

（施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

- ③ 全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を毎年、前年度より減少させ、平成33年度調査において7%以下にする。

(施策7 健康や体力における保持増進する力の育成)

2. 年度目標と年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>① 今年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>② 今年度の校内調査における「学力のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>③ 今年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>④ 今年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を100%にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>② 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を、前年度より減少さる。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>③ 平成31年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を70%以上にする。 (施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p> <p>④ 平成31年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を70%以上にする。 (施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p>	

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 今年度の中学生チャレンジテストにおける正答率が市平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ② 今年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

学校の年度目標

- ① 平成 31 年度の全国学力・学習状況調査における無回答率を平成 30 年度より 3 ポイント減少させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ② 被害調査の全ての項目において、「いいえ」の回答率を 90% 以上にする。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)
- ③ 美化・環境整備に関心を持ち、積極的に取り組む行動力を育成する。
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
- ④ 自己の健康課題を理解し、その解決に向けて行動する力を育成する。
(施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- ⑤ 平成 31 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

① 教務部

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 補充授業などを実施し、9 教科ならびに道徳の授業時数の確保に努め、授業内容を充実させる。 (教育活動のための時間の確保)	
指標 総授業時間数を昨年度より増加させ、生徒の学習時間を確保する。	
取組内容②【施策 6、国際社会において生き抜く力の育成】 タブレット端末などの I C T 機器を活用して、学びの楽しさを伝えていく。 (I C T を活用した教育の推進)	
指標 I C T 機器を活用した授業時数を昨年度より増加させる。	
取組内容③【施策 3 地域ごとに開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 昼休みや放課後に図書館を開館し、本の貸し出しをしたり、自主学習会や講習会を行い、利用しやすい雰囲気をつくっていく。 (学校図書館の活性化)	

指標 週平均 7 回以上図書館を開館する。	
-----------------------	--

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

② 生活指導部

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 問題行動の発生件数を前年度より減少させる。 (いじめ・問題行動に対応する制度の活用)	
指標 被害調査を毎学期実施し、全ての項目の「いいえ」の回答率を 95 % 以上にする。	
取組内容②【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 各学年の不登校生の欠席日数を減らす。 (不登校や児童虐待などの課題への対応)	
指標 いじめ・不登校対策委員会を学期に 1 回以上開き、諸問題への対応策を学校全体で考える。	
取組内容③【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 安全に登校し、落ち着いて学校生活のスタートを切れるように、予鈴遅刻を減少させる。 (登下校時の子どもの安全確保)	
指標 前年度の遅刻の割合より 5 ポイント減少させる。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

③ 健康教育部

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標		進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】 委員会活動の活性化を図り、校内美化・掃除用具の管理・ゴミの減量化・緑化推進に取り組む。 （インクルーシブ教育システムの充実と推進）		
指標 美化委員会当番の活動達成率を前年度よりも向上させる。		
取組内容②【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 保健指導や委員会活動を通して、健康についての基本的知識の習得を促進し、自分自身の健康に关心を持たせる。 （健康に関する現代的課題への対応）		
指標 健康診断の受診率を前年度より向上させる。		
取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ピアサポートやアサーショントレーニングなど自己肯定感の向上につながる手法を用い、スクールカウンセラーとも連携しながら取り組みを実施する。 （健康に関する現代的課題への対応）		
指標 年に1回以上、自己肯定感の向上をテーマとした取り組みを実施する。		

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

④ 事務・管理作業員部

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標		進捗状況
取組内容①【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校徴収金や学校給食費、就学援助申請についての文書を、保護者メールと学校HPを利用し、随時保護者に情報発信を行う。 （保護者や地域住民に開かれた学校園の運営）		
指標 学校徴収金の予算書配付、学校給食費の口座振替日、就学援助申込期限についての周知を、保護者メールの配信と学校HPへの掲載を行う。		

取組内容②【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】

施設の更新・維持管理のために破損箇所等を把握し、生徒が安心して学習に取り組める教育環境の確保に向けて、施設の補修・維持管理を行うよう対応する。
(学校施設の老朽化への対応)

指標 夏季休業中を利用して学校施設の破損点検を行い、補修必要箇所を調査し、優先順位をつけ補修工事を行う。

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立西中学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

（3）各学年

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

1学年…落ち着いて中学校生活をスタートさせることができた。学校生活全般に対して前向きに取り組もうとする姿勢が見られる。この状態を保ちつつ、各生徒の課題を達成することを目指していきたい。学力や家庭環境に問題を抱える生徒もあり、個に応じた丁寧な対応が求められる。日々の生活や行事を通して、自他を尊重し、協力して物事に当たることができる集団に育てていきたい。

2学年…「学びあおう、認めあおう、高めあおう」を学年目標とし、学力向上とお互いの違いを認める仲間づくりを柱にした運営を進めている。チャレンジテストでは大阪府の平均を上回る教科も出てきている。読む力、発信、表現する力を一層強化していくこと、家庭学習の定着を図りたい。行事や班活動を通して自他の良さを認め、個々の持つ力を伸ばすとともに協力できる生徒に育てたい。

3学年…ほとんどの生徒は、早い目に登校し朝読書の習慣もついている。不登校・欠席しがちな生徒もいるが、昨年度別室で過ごしていた生徒については、学級で過ごせるようになっている。

進路を意識して学習に前向きに取り組む生徒が増えてきている。一方、学習意欲が乏しく課題未提出・書字を苦手とする生徒もあり、引き続き個々の生徒へのきめ細かい対応が必要である。

全ての生徒の進路を責任もって保証できるよう取り組んでいきたい。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】

① 平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年 100%にする。

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実）

② 毎年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少する。

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実）

③ 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を 80%以上にする。

（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

④ 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 80%以上にする。

（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ① 全国学力・学習状況調査における活用に関する問題の正答率8割以上の生徒の割合を、平成29年度からの4年間で全国平均以上にする。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ② 平成33年度の全国学力・学習状況調査における数学の活用に関する問題の無解答率を平成28年度より5ポイント減少させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ③ 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「1時間未満」と答える生徒の割合を、平成28年度より減少させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ④ 全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を毎年、前年度より減少させ、平成33年度調査において7%以下にする。

(施策7 健康や体力における保持増進する力の育成)

2. 年度目標と年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>① 今年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>② 今年度の校内調査における「学力のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。</p> <p>(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>③ 今年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p>(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p>	
<p>学校の年度目標</p> <p>① 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を100%にする。</p> <p>(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p>	

- ② 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を、前年度より減少さる。

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)

- ③ 平成31年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を70%以上にする。

(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 今年度の中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ② 今年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に對して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

学校の年度目標

- ① 平成31年度の全国学力・学習状況調査における国語、及び、数学に関する問題の正答率8割以上の生徒の割合を全国平均にする。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ② 全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」のポイントを3ポイント向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ③ 中学校チャレンジテストにおける校内平均が、大阪市の平均を超えるよう、学力の向上に取り組む。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

① 1学年

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 班や委員会の活動、道徳、特活、総合の時間に積極的に充実した話し合いができる集団づくりに取り組む。 (「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の推進)	
指標 校内アンケートにおける肯定的な回答率の割合を向上させる。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実】 自分に厳しく、他人に寛容な生徒集団の育成を目指し、すべての生徒が安心して生活できる学校環境をつくる。 (不登校生徒の対応)	
指標 今年度中に、新たに不登校となる生徒をつくらないようにする。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

② 2学年

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標		進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実】 学年の生徒集団が互いに認め合い、いじめのない人間関係づくりを進め ることができる取り組みを進める。 (いじめ・問題行動に対応する制度の活用)		
指標 いじめに関する集中実践を年度1回以上行う。		
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 平成31年度のチャレンジテストにおける正答率3割以下の生徒を同 一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させ る。 (放課後を活用した学習機会の支援)		
指標 GKPテスト（学力向上プログラム）として基本事項の定着をはか るテストを年間7回以上実施する。		
取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実】 不登校及び不登校傾向にある生徒への支援をする。 (不登校生徒の対応)		
指標 前年度よりも不登校比率を減少させる。		

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

③ 3学年

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実】 学年の生徒集団が互いに自己を認め合い、いじめのない人間関係づくりを進めることができる取り組みを進める。 (いじめ・問題行動に対応する制度の活用)	
指標 認知したいじめについて100%解消に向かうよう対応する。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実】 不登校及び不登校気味の生徒に対する支援や対策を強化する。 (不登校生徒の対応)	
指標 前年度よりも不登校比率を減少させるとともに、全員の進路を保障する。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立西中学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

（3）各教科

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

国語科…全学年落ち着いて授業に入ることができている。単元によっては、習熟度別授業やT. T. での授業を効果的に取り入れることによって、より深い学習定着につなげていく。

1・2年生では毎回の授業で漢字のテストを行うことにより、言語についての知識・理解・技能の習得に努めている。3年生でも、漢字や文法などの確認テストの取り組みを今後計画している。課題については、全学年で丁寧な添削、指導を行うことにより書く能力の向上をサポートしている。また、年に3回漢字検定を行い、学習意欲の向上のきっかけ作りとしている。

全国学力・学習状況調査やチャレンジテストの結果を見ても、2・3年生とも徐々に結果が出ている（昨年度の全国学力・学習状況調査では大阪市の平均を、チャレンジテストではいずれの学年も大阪府の平均を上回っている）ので、ここに満足せず、引き続き学力向上に努めていく。

社会科…どの学年も落ち着いた状況で授業ができている。小学校での学習内容が一定身についている生徒は、授業でも興味・関心が強く、積極的に取り組むことができ、テストの得点にもつながっているため、さらに前向きに学習に取り組んでいる。一方、小学校での学習内容が定着しきれていない生徒は、学習意欲を維持することが困難であり、提出物もなかなか出せない生徒も一定数いる。

そういう状況の中で学力の二極化が進んでいる。まずは、基礎・基本の知識を定着させることでつまづきをなくし、また、その先に、資料を読み取り、活用する力や社会的な思考力、判断力、またそれらを表現する力を身に着けさせていく必要がある。自ら学ぶ姿勢を養っていきたい。

数学科…本年度も、学年、学級の状況に応じて、習熟度別授業やT. T. 授業を効果的に実施し授業の定着を図っていく。

毎回課題を出し、家庭での自主学習を促している。丁寧に課題を行っている生徒は自主学習の習慣がつき、学力も向上しているが、そうでない生徒もいるので、声掛けを行い、家庭学習をする習慣をつけさせていく。

数学検定を年2回実施し、過去問を提示したり、図書館で学習会を開いたりした。しかし、全員合格とまではいかなかった。数学検定の参加人数が6～8名と少ないので、告知をして参加者を増やし、合格できるように導いていく。

理科…実験、観察については、興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいる。昨年度は、授業時間の10%以上を理科室での生徒実験の時間にあてはめた。

実験の技能や計算力、科学的思考力、知識理解の定着率は、生徒間の差が大きい。一昨年度もガスバーナーの実技検査や、圧力の計算で、事前に掛け算や割り算の計算問題を練習させたりしたが、期間を置くと定着率はかなり悪くなつた。

今年度、学年所属の理科教員がいない3年については、1年所属教員が理科の第二分野を、2年所属教員が第一分野を受け持つてゐる。そのため、授業進度等で連携を深めていきたい。

本校の生徒の自然体験は少ない。生徒に、防災的な観点も含めた地域の理解を深め、本物の自然に触れさせるため、ICTによるバーチャルな体験だけでなく、郊外行事等でも、自然体験の機会をふれさせていきたい。また、生徒の自主的・総合的な理解を深める夏休みの理科の自由研究の取り組みも継続していく。昨年度実施できなかつた科学検定も本年度は実施していきたい。

知識理解の定着をはかるため、小テストや課題を定期的に実施していきたい。

また、普通教室や理科室において、デジタル教科書や書画カメラ、タブレット等のICTを活用し、生徒が主体的に学習したり、生徒間の意見交流（アクティブラーニング）ができるような授業の取り組みを実践していきたい。

理科室の使用率については、回数だけではなく、中身を精選し効果的な生徒実験を実施していきたい。

また、興味関心を高める工夫をはかりながら、基礎的事項の定着率を高めたい。

英語科…英語技能検定を年間3回実施し、校区内の小学生に呼びかけて、同時に受検する取り組みを行つてきた。上級に合格する生徒もおり、関心も高まつてゐる。さらに今後の課題としては、意欲的で活動的な生徒が多いが、一方で、基礎・基本の定着に欠ける生徒の割合も多い。TTによる分割授業の実施を増やし、学力の向上を図つていくことが、喫緊の課題である。

音楽科…合唱が定着し、歌うこと、表現することへの抵抗が減つてきつてゐる。合唱をとおして学級への意識を高めることのできる合唱コンクールも定着してきつた。鑑賞においても知識に偏ることなく、感じる心を育成していきたい。

美術科…意欲的に創造活動に取り組むことができてゐる。授業から生まれた作品を飾ることや、学校行事に関連して制作を進めることなど、美術的な活動に興味関心を持たせながら、表現力を高めてきた。形、色彩、構図による効果を自分の意図に応じて表現を工夫することが今後の課題である。また、作品鑑賞を通じ個々の価値基準の生成も図りたい。

保健体育科…昨年に引き続き、全国体力・運動能力調査の結果が全国平均を下回つてゐる。特に、男子の体力・運動能力の低下傾向が強い。高めるべき能力の特性に適した運動を選択し、発達段階に応じた強度、時間、頻度に配慮した授業計画を立案していかなければならない。また、運動能力の向上と傷害防止のために必要な教育環境の整備については、急務の課題である。安全に運動やスポーツに親しませる態度を養わせ、豊かな人生を送るために必要な健やかな心身の育成につなげていきたい。

技術・家庭科…パソコン・作品制作・調理実習などの作業学習には関心が高く、意欲的に取り組む生徒が多い。基礎的・基本的な知識の定着を図る必要がある。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】

- ① 平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年 100%にする。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)
- ② 毎年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少する。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)
- ③ 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
- ④ 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 80% 以上にする。
(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ① 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における数学の活用に関する問題の無解答率を平成 28 年度より 5 ポイント減少させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ② 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「1 時間未満」と答える生徒の割合を、平成 28 年度より減少させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ③ 平成 33 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における合計得点を、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。
(施策 7 健康や体力における保持増進する力の育成)
- ④ 全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を毎年、前年度より減少させ、平成 33 年度調査において 7% 以下にする。
(施策 7 健康や体力における保持増進する力の育成)

2. 年度目標と年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p>	
<p>① 今年度の校内調査における「学力のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。</p>	
<p style="text-align: right;">（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実）</p> <p>学校の年度目標</p>	
<p>① 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を100%にする。</p>	
<p style="text-align: right;">（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実）</p> <p>② 平成31年度の全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。</p>	
<p style="text-align: right;">（施策2 道徳心・社会性の育成）</p> <p>③ 平成31年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を70%以上にする。</p>	
<p style="text-align: right;">（施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）</p>	
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p>	
<p>① 今年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。</p>	
<p style="text-align: right;">（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）</p> <p>② 今年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p>	
<p style="text-align: right;">（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）</p> <p>③ 今年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である上体起こしの平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。</p>	
<p style="text-align: right;">（施策7 健康や体力における保持増進する力の育成）</p> <p>学校の年度目標</p>	
<p>① 平成31年度の全国学力・学習状況調査における「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「1時間未満」と答える生徒の割合を、前年度より減少させる。</p>	
<p style="text-align: right;">（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）</p> <p>② 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における合計得点</p>	

を、前年度より3ポイント向上させる。

(施策7 健康や体力における保持増進する力の育成)

① 国語科

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【施策3 道徳・社会性の育成】 本の読後感想を紹介し合う時間を作る。 (学校図書館の活性化)	
指標 読後感想を紹介し合う時間を作る。	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 単元毎の復習課題を与え、家庭学習をさせる。 (放課後を活用した学習機会の支援)	
指標 課題提出の割合を85パーセント以上とする。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

② 社会科

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 小テストを継続実施し、基礎事項の定着を図る。 (全市共通テストの導入)	
指標 平成31年度の中学生チャレンジテストにおいて標準化得点を、前年度より向上させる	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 定着した知識を活用し、自らの意見を「書く」「発表する」力を養い、また、相手の意見を聞く態度を養う。 (「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進)	
指標 グループワープやレポートなど自分の意見を発表する機会をもつ。	
取組内容③【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ICT機器を活用して、学びの楽しさを伝えていく。 (ICTを活用した教育の推進)	

指標　ＩＣＴ機器を使用した授業を、年間を通して継続的に行う。	
--------------------------------	--

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
----------------------------------	--

次年度への改善点	
-----------------	--

③ 数学科

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 習熟度別授業を行い、少人数のなかで活発な発言を促す授業を行う。 (学校力UPベース授業 (習熟度別少人数授業など個に応じた指導の充実))	
指標　習熟度別少人数授業に関する生徒アンケートで「授業が分かる」とする旨の回答割合の差を3%にする	
取組内容②【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 家庭学習プリントを作成し、家庭学習の充実に生かす。毎回課題を出すことによって、家庭学習の定着を図る。 (放課後を活用した学習機会の支援)	
指標　毎回課題を出し、課題の提出率を85%にする。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
----------------------------------	--

次年度への改善点	
-----------------	--

④ 理科

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【施策5　子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 小テストを継続して実施し、基礎事項の定着を図る。 (全市共通テストの導入)	
指標　平成30年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる	

<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 定着した知識を活用し、自らの意見を「書く」「発表する」力を養い、また、相手の意見を聞く態度を養う。 (「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進)</p>	
<p>指標 グループワープやレポートなど自分の意見を発信する機会をもつ。</p>	
<p>取組内容③【施策6、国際社会において生き抜く力の育成】 ICT機器を活用して、学びの楽しさを伝えていく。 (ICTを活用した教育の推進)</p>	
<p>指標 ICT機器を使用した授業を、継続的に行う。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析</p>
<p>次年度への改善点</p>

⑤ 英語科

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 単元に適した習熟度学習の形を考え、内容を精選し、実施する。 (学校力UPベース事業(習熟度別少人数授業など個に応じた指導の充実))</p>	
<p>指標 新しい単元の導入や、定期テスト前などに集中して習熟度別学習に取り組む。</p>	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。 (全市共通テストの導入)</p>	
<p>指標 家庭学習の課題の精選や、小テストや単元ごとの確認テストなどの実施をする。</p>	
<p>取組内容③【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 英検受験人数を昨年度より増やす。 (英語教育の強化)</p>	
<p>指標 「学校元気アップ本部事業」と連携し、放課後などの補充学習の機会を継続して設け、受検への意識を高めさせる。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析</p>

次年度への改善点

⑥ 音楽科

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗 状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 平成31年度校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 （「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング）の推進）	
指標 実技テストを年間5回行い、表現する機会、発表を聞いて批評する機会をつくる。グループパワーにより作品協力して作る機会を年に1回以上つくる。	
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 平成32年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。 （心豊かに生き抜く心身の育成）	
指標 年1回の合唱コンクールにおいては学級へ、行事との連携においては学校全体に歌唱を通して自分の力が全体へつながる機会をつくる。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

⑦ 美術科

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 対話型鑑賞や作品の比較鑑賞を班活動で行う。 (「主体的、対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進)</p> <p>指標 グループで作品の相互鑑賞や比較鑑賞を行い、感じたことや考えたことを説明しあうなどの対話の機会を増やす。</p>	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 社会で活躍するデザインの鑑賞や環境保全のポスター制作をさせる。 (環境を守る意識の醸成)</p> <p>指標 中学校美術科指導要領、A 表現(2)に準拠し、「伝える、使う」などの目的や機能を考える活動から、環境保全について視点をもたせる。</p>	
<p>取組内容③【地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 資料収集に図書館を利用する。また、銅版によるしおりづくりをする。 (学校図書館の活性化)</p> <p>指標 読書感想画の募集をし、読書への興味、意欲を高める。また、各実習課題における主題実現のため、資料収集に図書館を利用する。</p>	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

⑧ 保健体育科

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の充実】 集団行動を通して、規律を守ることの意味や仲間と協力することの大切さを学ばせる。 (規範意識の醸成)</p>	
<p>指標 今年度の校内調査における「学力のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度より増加させる。</p>	

<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 対話的な活動や相互評価の活動を班やペアで行う。 (「主体的、対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進)</p> <p>指標 運動の練習や相互評価や行い、感じたことや考えたことを説明しあうなどの対話の機会を増やす授業を各学期に1回以上行う。</p>	
<p>取組内容③【施策7 健康や体力における保持増進する力の育成】 運動やスポーツに親しむ態度を養わせる。 (心豊かに力強く生き抜く心身の育成)</p> <p>指標 今年度の全国体力・運動能力調査において「あなたが健康でいるために、運動（体を動かす遊びを含む）を行うことをどのくらい大切だと考えていますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を大阪市平均と同等にさせる。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析</p>
<p>次年度への改善点</p>

⑨ 技術・家庭科

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号、施策名】 少人数での授業を実施し、個に応じた指導の充実を図る。 (教育活動のための時間の確保)</p>	
<p>指標 個に応じた指導の充実を図り、教科に対する理解度の向上を図る。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析</p>
<p>次年度への改善点</p>

大阪市立西中学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

（5）各委員会

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

特別支援教育委員会…学習や人間関係において成功体験が少なく、集団活動に不安を感じ教室に入りづらい生徒や、意欲が持てず学習に向き合えない生徒もいる。そんな中、すべての生徒が安心して成長できる安全な学校を目指して取り組んでいる。学習については個々にその都度の目標を設定しながら達成感のもてる授業を行うように努めている。それぞれが自己の課題を自覚し、培った学習姿勢がクラスの授業の中でも生かされることが今後の課題である。集団参加については学校生活を通じて社会の中で必要とされるスキルや人とかかわる力を育成することが強く望まれる。

人権・道徳委員会…学校全体として見ると、落ち着いた状態で学校生活を送っているといえる。「いじめ・差別はいけないこと」「戦争を憎み、平和を愛する」といった基本概念も概ね定着していると言える。その一方で、「知らずに他人を傷つけているかもしれない」という自覚は薄く、当事者として人権問題について考えられてはいない。夏の平和学習については充実した取り組みが行われているが、人権問題全般について十分に取り組めているとは言えない。

2 学期以降の各学年の人権学習の時間の確保と、内容の再検討が必要である。特に、今日的人権課題について教職員が人権研修会などに積極的に参加し、研鑽を積まなくてはならない。

また、道徳については、新たな教科書を使って学年教員全員で授業を行う方向で進めている。生徒にとって有意義な授業展開を行うとともに、評価を適切に行うために、方向性を見出し、研鑽を積む必要がある。

食育委員会…本校で親子給食が開始してから 4 年目をむかえ、残食率は少しづつではあるが減少傾向にある。学校給食を通して、残さずに食べたり、無駄なく配膳したりする食生活のマナーが生徒たちに身についた現状がうかがえる。学校教育活動全体の中で食に関する指導を進め、生徒一人一人が心身の成長や健康の保持増進のため、食事をとおして自らの健康管理が出来る態度を養わせることを課題とする。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】

① 平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめに

について、解消に向けて対応している割合を毎年 100%にする。

(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)

② 毎年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少さる。

(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)

③ 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を 80%以上にする。

(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

④ 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 80%以上にする。

(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

① 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「1 時間未満」と答える生徒の割合を、平成 28 年度より減少させる。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

② 全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を毎年、前年度より減少させ、平成 33 年度調査において 7%以下にする。

(施策 7 健康や体力における保持増進する力の育成)

2. 年度目標と年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>① 今年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>② 今年度の校内調査における「学力のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 85%以上にする。</p> <p>(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p>	
<p>学校の年度目標</p> <p>① 平成 31 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を 100%にする。</p> <p>(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の充実)</p> <p>② 平成 31 年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連</p>	

携を密にとっている」と答える保護者の割合を70%以上にする。

(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 今年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

学校の年度目標

- ① 平成31年度の全国学力・学習状況調査における「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「1時間未満」と答える生徒の割合を、前年度より減少させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ② 全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を、平成31年度調査において前年度より減少させる。

(施策7 健康や体力における保持増進する力の育成)

① 特別支援教育委員会

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号2、施策名 道徳心社会性の向上】 インクルーシブ教育の充実と推進を図る。 (インクルーシブ教育の充実と推進)	
指標 集団の一員としての自覚を持たせるために、学校行事や日々の生活の中で自分に任された仕事を責任をもって果たす経験を多く積ませる。	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 個々のニーズに合った教育の推進を図る。 (教育活動のための時間の確保)	
指標 達成したことがわかるようにスマールステップで目標を提示し、目標をもって自主的に学習する姿勢を育てる。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

② 人権・道徳委員会

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標		進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】		
人権研修に積極的に参加し教職員自身が人権意識を高めるとともに、総合の時間を活用した人権教育を実践する。（人権を尊重する教育の推進）		
指標 全教員が人権研修に参加する。また、各学年で人権教育を行う。		
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】		
道徳の教科化に伴い、教員相互の授業研究に積極的に取り組み、評価の方法について研鑽を積む。		
指標 道徳教育に関する校内研修会を年2回以上実施する。		

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

③ 食育委員会

年度目標の達成状況や取り組み内容、取組の進捗状況を図る指標		進捗状況
取組内容①【施策7 健康や体力における保持増進する力の育成】		
様々な教育活動を通して食育をすすめ、生徒自らが健全な食生活を実践することができる力を身につけさせる。		
指標 米飯の残食率の割合を昨年度より減少させる		
取組内容②【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】		
保護者対象の試食会を実施する。 (中学校給食の充実に向けた総合的な取組)		
指標 P T A、小学校と連携し、年1回以上の試食会実施を継続する。		

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度への改善点